

<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">A 1 4 0</h1> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">(実習)</p>		<h2 style="font-size: 1.5em; margin: 0;">拒絶理由通知対応の基本</h2> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">(電気・機械)</p> <p style="font-size: 1.1em; margin: 0;">～特許の拒絶理由通知への的確な対応～</p>
講座レベル ★★★★★		
講師	弁理士 泉 通博 (創光国際特許事務所 所長、元 キヤノン(株))	
日程・場所	東京会場	
	10月29日(水)、2026年2月17日(火)	
時間	1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45	
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>	
定員	東京会場：24名(先着順申し込み)	
受講料	22,000円(税込24,200円)	
対象	電気機械分野の知的財産部門の特許担当者、特許出願経験のある技術者	
<b>内 容</b>		
<p>良い発明を特許出願しても、特許庁からの拒絶理由通知への対応を誤ると、企業活動に有効な特許を取得できません。それだけ、拒絶理由通知の対応は、良い特許を取得する上でとても重要です。</p> <p>本セミナーでは、特許実務経験豊富な講師が、拒絶理由通知別の複数事例を交えた的確な対応方法を詳しく解説します。さらに、実際に補正書・意見書を作成する演習を通して基本的な対応の考え方を理解し実務力を身に着けます。</p>		
<b>プログラム</b>		
<p>1. 特許庁の審査と拒絶理由通知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許制度の概要</li> <li>・ 特許庁の審査と拒絶理由通知</li> <li>・ 拒絶理由通知の概要</li> <li>・ 拒絶理由通知書の見方</li> </ul> <p>2. 拒絶理由通知への対応(新規性・進歩性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規性違反への対応</li> <li>・ 進歩性違反への対応</li> </ul> <p>3. 拒絶理由通知への対応(記載不備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明確性違反</li> <li>・ サポート要件違反</li> </ul>	<p>4. 演習(拒絶理由通知対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例の説明</li> <li>・ 補正書・意見書の作成</li> <li>・ 発表</li> <li>・ 解説</li> </ul> <p>5. まとめ</p>	

## 【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。

URL:<https://www.jpds.co.jp/seminar/application2025.html>

## 【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。

セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。